

蚕桑之葉

1914年

大日本蚕糸會
本日委員會
三回品評會
支玉培會
會念記

大正九年十一月

蠶
史
桑
火
棊

埼玉縣秩父郡樋口村

新井養蠶傳習所

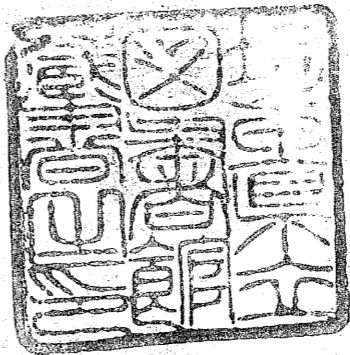
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

L635
P

國光

大正九年十月

增田勲三等勳章内務大臣



7318



新井養蠶傳習所子女部實習生

皆様私は今回大日本蠶糸會埼玉支會第三回品評會の開會に當りまして蠶絲業に關する御話を申上ぐる光榮を得ましたのはほんとうにうれしいわ否衷心より欣快に堪へません

却説私し御話を致します前にわたいの否私くしの素性を申上ぐる必要が御座います夫れはねはつかしなから私くしは元東京市新橋何某の處に拾有二年間御厄介になりました少しは藝術のたしきも御座います又御しやべりも可なり上手になりました紳士豪商又は夫れはく申上ぐるも憚り多い貴顯の方々の御寵愛を受けまして昨年の暮までうか／＼過こしましたそこでつく／＼考へますと私の藝能は私の長所でありまして又私の短所であることを自覺致しました今では世界の戦亂は終熄は致しましたけれども女の身分にてわかりませぬけれど承る處經濟界に外交に思想界とやら夫れはく國家多事の今日貴重の日子を遊藝などに費し居りましては相濟まぬことゝ存じまして彼是れ煩悶致して居りました處本年三月あはれきわまる尼港遭難の模様を承りますと惡逆非道のバルチザン我が帝國の領事館を燒撃し石川少佐石田領事三宅海軍少佐の三君始め我同胞八百有余御國の爲め戦死又は殘忍きはまる逆殺の難を受けたる報を聞き私は斷腸の思ひと申そうか實に血涙に咽びましたそこで斷然是迄のつとめを廢し實業に就き仮令聊かにても國家有益の方面に活動致し度覺悟致しましたので御座います幸ひ帝室技藝員安本様の御照介に依りまして秩父郡の蠶種家新井先生方へ女子部實習生と致しまして入所爾來養蠶業の傳授を受け第一年の修業を無事に終りました實に實業といふものは國家義務と云ふ趣味を以て働けば愉快此上無いもので御座います仮令聊かなりとも國家有益の萬分の一を盡し得たりと思ふと誠に心うれしく存じます大分前置きはかり長くて相すみま

せんが本問題は私はまだ皆様にお話する迄の程度に達しませんから其變り先日短期の學術講習會がありました節新井養蠶傳習所長の講話筆記がありますから夫れを御覽に入れることに致します此の筆記も私し蠶學を修めないから字違ひやら言葉違ひやらさぞ御聞き悪い事と存じますが此点は御許しを願ひ度存じます何れ此度は懸命に努力致しまして皆様がお驚きになるほど名人になりまして私し廿二歳迄怠業を致して居りました罪の一端を滅し以て國家に忠ならむとする覺悟で御座りますから皆様も藝妓に振り散く様な餘財が御座いましたら國防費に御献納くださいます様御心懸けが然るべくと存じ失禮も願ずお勧め申上ます此處へ聊か劣ないお咄しを申上げ祝意を表します



新井養蠶傳習所長講話筆記

其一

- 一、本年ハ春以來蠶作ハ思ハシクナク、春蠶モ亦タ夏秋蠶モ上作ト稱スルコトハ出來マセンノミナラズ、糸價暴落ニ伴フ繭價安デアリマシタカラ、二重ノ損失ヲシタ様ナ事ニナリ、養蠶家ニ對シテハ、何トモ申シ様ノ無イ御氣ノ毒ナ年デアリマシタ。
- 一、其處デ糸價暴落ノ事ハ別ト致シマシテ、養蠶不作デアツタ原因ニ就テハ、氣候不良ト云ヘバソレ迄デアリマスガ、斯ル年柄ニモ拘ラズ、中ニハ又七作シタモノモ澤山アリマスカラ、不作ノ原因ハ強チ天候ニ許リ罪ヲ着セル譯ニハ行キマセヌ様デアリマス。
- 一、春蠶不作ノ原因ハ、色々複雑ニナツテ居リマスガ其ノ原因ヲ舉ゲルト 第一ハ桑葉ノ不良 第二ハ飼育法ノ拙劣 第三ハ蠶種ノ不良デアルト思ヒマス。
- 一、然ラバ何ゼ桑葉ハ不良デアツタカト申シマスニ、御承知ノ通り本年ハ非常ニ雨ノ多イ年デアリマシテ殊ニ五月初旬ハ殆ンド一日トシテ晴天ガナカツタト云フ有様デ稚蠶ハ、マルデ雨 中デ飼ツテ居タ様ナ次第デアリマス、一体桑ノ發育スルニハ日光ガ必要ナモノデアリマシテ植物ノ同化作用ヲ營ミ植物体内ニ養分ヲ作ルノハ偏ニ之レガ御陰デアリマス、然ルニ本年ハ斯様ニ雨ガ多ク殆ド日光ヲ見ル事ガ少ナカツタカラ其ノ同化作用ハ完全ニ行ハレナイデ葉ノ中ニ養分ガ充分蓄積セラレナカツタノデアリマス。

飼育中一般ノ養蠶者ガ異口同音ニ、桑葉ノ黄味ガトレナイトカ、青クナリ方ガ遅イトカ、騒イタノハ論ヨリ證據デ、ツマリ葉ハ伸ビタガ其面積ニ對スル重量ガ輕ク養分ノ充實シナイ、水分ノ多イ桑ガ出來タ次第デ斯様ナ桑葉ヲ而モ雨ノ多イ養蠶ニ最モ不適當ナル惡質ノ天候ニ際シ、給桑ノ過不及ニ因リマシテ失敗者ガ多カッタノデアリマス。

一、飼育中何ガ骨ガ折レルカト云フニ、雨ノ多イコトデアリマス、例年デサヘ然リデス、况ンヤ本年ノ様ニ連日連夜雨ノ降り續イタ年ニハ猶更ノコトデアリマシテ、ソレニ水分ノ多イ養分ノ充實シナイ桑ヲ以テ飼フノデアリマスカラ、飼育ノ困難デアツタノハ想像以上デアリマス、幸ニ設備ガ整フテ飼育技術ガ熟達シテ居タトセバソレノ適法ノ處置ヲトリマスカラ、大シタ間違ヒモ起リマセヌガ、之レニ反シ設備ガ不完全デアルトカ技術ガ拙劣デアツタトセバ斯ル氣候ニ對スル調節ガウマク行カナイテ遂ニ失敗ニ終ルコトハ今更説ク迄モナイコトデアリマス。

彼ノ設備ニ伴ハザル大養蠶ヲナシ、労働人夫ノ不足ニ因リ失敗シタリ或ハ火力ノ使用ヲ誤リ排濕ガ出來ナイテ却ツテ蒸熱ヲ醸シタリ、給桑ガ伴ハナイデ蠶兒ヲ營養不良ニ陥レ失敗シタリ或ハ徒ラニ給桑ニ努メ殘桑ヲ堆積シ温湿度ノ調節ヲ怠リ失敗シタモノナドハ飼育技術ノ拙劣ト養蠶經營ノ計畫ヲ誤リシハムシロ當然ノ歸決デアリマス。

一、養蠶ノ豊凶ハ蠶種ノ良否ト至大ノ關係ヲ有スルモノデアリマシテ、若シ蠶種ガ劣惡デアツタナラバ、ヨシ氣候ノ良イ年デアツテモ不作ハ免レマセン况ンヤ本年ノ様ナ年ニ葉質ガ劣惡デアルカ或ハ保護催

青ヲ誤リタル蠶種ヲ掃立テタトセバ失敗ニ終ルハ自ラ明カノ理デアリマス、本年ノ失敗者ノ中ニハ之レガ原因ヲ爲スモノカ少クナカッタ様デアリマス。

一、其ノ他支歐ノ黄繭一代雜種又ハ日支ノ白繭一代雜種ハ在來種ヨリモ失敗ガ多イトカ、日支ノ一代雜種ハ在來種ヨリモ飼ヒ難イトカ云フ者モアリマスガ、素ヨリ品種關係ハ絶体ニ無イデアアリマセンガ夫レハ唱フル人ノ研究ノ足ラヌ誤解デアリマス、若シ夫レ顯著ナ事實ヨリ致シマスレバ其品種ニ對スル飼育法ガ無論適當デナカッタ爲メテノデアリマス。

一、要スルニ本年春蠶不作デアリマシタ原因ハ以上御咄シセル如ク、養蠶時期ニ際シ未曾有ノ惡質ナル天候ト桑葉ノ不良ト又交雜不完全ニシテ病毒多キ蠶種ノ關係及ビ飼育技術ノ不熟練ノ結果デアリマス、然ルニ人ニヨルト之ヲ品種ノ關係デアルトシ、交雜種ノ普及サレタノガ最大原因デアアルカノ様ニ誤信シ甚ダシキニ至リテハ稀レトハ云ヒナガラ、一代交雜種ヲ嫌フテ在來種ヲ迎フルモノ有ル等實ニ怪訝ニ堪ヘナイノデアリマス、若シ其レ斯ノ如キ間違ツタ考ヘテ致シテ居リマシテハ何時迄立ツテモ容易ニ改善發達ハ期シ難イノデアリマス。

一、秋蠶ノ不作デアツタノハ、春蠶トハ多少趣ガ異イマス桑葉ハ左迄不良ト云フ譯デアアリマセンガ、矢張惡質ノ天候ガ持續シタコトガ最モ大ナル原因ヲ爲シタノデアリマス。

一、秋蠶ヲ失敗シタ者ノ中白僵病(オシヤリ)又ハコシヤリ)ニ犯サレ全滅シタモノガアリマス、此ノ病ハ糸狀菌ノ一種デ、白僵菌ノ寄生ニヨリテ起ル蠶病デアリマシテ、蒸熱多濕ノ場合ニ多ク生ズルノデ本

年ハ春以來雨天勝テ濕氣ガ多カッタカラ、此ノ病ヲ多發シタノデアリマス、白蠶病蠶ノ體面ヲ覆フテ居ル白粉狀ノモノハ此ノ病菌ノ孢子デ其孢子ハ蠶室、蠶具其他ニ附着シテ居リマシテ明年ノ養蠶ニモ傳染スルノデアリマスカラ、今ノ中ニ蠶室蠶具等ハ充分ニ水デ洗ヒ且ツ消毒シテ重キ病ヲ未發ニ防グベク古諺ニ「一文惜ミノ百損」ト云フコトガアリマスガ、僅カ許リノ消毒費ヲ惜ミ明年ノ養蠶ヲ失敗スルコトノ無イ様御注意スルコトガ最モ肝要デアリマス。

其 一

- 一、現今蠶ノ品種ハ多種多樣デアリマスガ、之レヲ大別スルト指定種ノ様ナ真ノ一代雜種、複製種ヤ系統不明ノ品種ヲ掛合セタ(デモ)雜種及ビ在來種ノ三ツニナリマス。
- 一、處デ在來種ハ種類ニヨリ虫ハ丈夫デ飼ヒ易イ点モアリマスガ、收繭量多カラズ糸質ガ惡イト云フ欠点ガアリマス、(デモ)雜種ハ飼育ハ困難ト云フ程デアリマセンガ、一代交雜ニ比較スルト減蠶歩合多ク而シテ其ノ成繭ハ雜駁デ糸質モ宜シクアリマセン、交雜ノ完全ニ行ハレタ真ノ一代雜種ハ虫質ノ方カラ云フテモ收繭ノ方カラ云フテモ、將タ亦糸質ノ方面カラ云フテモ現今ニ於ケル優良種ト云ハネバナリマセヌ。

一、人ニ依ルト一代雜種ハ優良種デアルカラ飼育困難デ往々失敗シ易イ故ニ一般ニ、普及セシメ難イモノデアルナド稱フルモノガアリマスガ、之レハ優良種ノ意義ヲ履キ違ヘテ居ルノデアリマス、斯ル人々ハ優良種トハ糸量多ク糸質ハ良イガ飼育困難ノモノデアルト、先天的ニ思フテ居ルカラ左様ニ云フノ

デアリマセウガ、優良種ト云フモノハ決シテソウ云フモノデアリマセン。其ノ其ハ、
一、優良種トハ其ノ交雜スベキ両親ノ系統正シイ良種デ、而モ完全ニ製造サレタモノデアツテ之レヲ飼育スル時ハ、虫質強壯デ飼育シ易ク收繭量ヤ糸量モ多ク糸質佳良ナルモノヲ指スノデアリマス、
例之ハ國蠶日一號ト國蠶支四號ヲ掛合ノ一代雜種トカ、國蠶歐七號ト國蠶支七號ヲ掛合セタ一代雜種ノ如キモノデアリマス。

併シ國蠶日一號ト國蠶支四號、國蠶歐七號ト國蠶支七號ノ様々優良品種ヲ掛ケタモノデモ、交雜ガ完全デ無ク所謂掛ケ外シガ多カッタリ、種繭ヤ蛾ヲ無理ニ冷蔵シ適法デ無イ製造ヲナシタモノハ、之レハ優良種トハ申セマセン、斯様ナ蠶種ハ其ノ飼育ノ成績ガ不良デアルカラデアリマス。

- 一、今ヤ蠶種ヲ購入スベキ時期ニテ其内蠶種ノ洗滌又ハ貯藏ノ期節モ追ッテ來マスカラ、今ノ内能ク以上ノ鑑別ヲ明カニシ、日支ナリ支歐ナリノ優良種ヲ選擇スベキデアリマス、
一、一代雜種ハドノ様ニ其ノ両親ハ優良品種デアツテモ製造法ヲ誤ルト不良ノ蠶種トナリマスノデ、出來タ蠶種ヲ見タ丈ケデ選定スルハ實ニ危險デアリマスカラ製造家ニツキ製造法ノ如何ハ素ヨリ原蠶飼育中成績迄ヲ調査スルコトガ必要デアリマス、ソレニハ養蠶組合ガ眞ノ活動シテ製造家ト直取引ヲスルノガ宜イノデアリマス、又埼玉社、秩父社ノ様々大團體ガ組合員ノ爲メ信用アル蠶種家ト良種ヲ特約シテ購入スルガヨイノデアリマス、斯クシテ蠶種家ハ多ク販賣費用ヲ掛ケズ比較的安く賣ルモ收支相償フコトニナリマスカラ、一舉兩得トナルノデアリマス。

一、斯クシテ良蠶種ヲ手ニ入レタナラ油斷ナク注意シテ保護セネバナリマセヌ、蠶種保護ノ適否ハ其レヨリ出タ蠶兒ノ發育及ビ成熟ノ如何ニ關係スルモノデアリマシテ、其保護宜シキヲ得ナイ時ハ折角ノ優良種モ其能力ヲ充分ニ發揮シテ仕事ヲ爲サズ終リマス、甚ダシキモノニナリマスト本年ノ様ニ遂ニ失敗ニ終ルノデアリマスカラ蠶種ハ此ノ際(十一月カラ十二月頃迄)水ヲ洗フテ蠶卵面ニ附着シテ居ル色々ノ病原物ヤ不潔物ヲ除キ去リ、而シテ充分ニ乾シテカラ溫度ノ變化ノ少イ土藏又ハ貯藏庫ニ委託致シマシテ安全ヲ期スベキデアリマス、殊ニ秋蠶種ニアリマシテハ一月トモナリマシタナラ直チニ冷藏庫又ハ風穴ニ貯藏ノ入庫ヲ怠ツテハナリマセヌ、秋蠶種ハ冷藏中五六月頃一度七十度位ノ處ニ取リ出シ卵間ニアル胚子ヲ發育セシメ、而シテ再ビ冷藏シマスト其ノ蠶種ノ發生ハ宜シク晚秋蠶用トシマシテモ可ナリ良ク孵化スルノデアリマス。

其二

一、一代雜種ノ如キ優良種ハ飼育容易デアルト云フモノ、ドンナ粗雜ナ飼育デモ宜シイト云フモノデアリマセン、在來種ニハ在來種トシテ飼育上注意スベキ点アリ、支那種又ハ歐洲種ニハソレト注意スベキ要点ガアルノト同様ニ一代雜種トシテノ注意ヲ要スル点ガアリマス、若シ其要点ニ注意ヲ欠キ在來種ヲ飼フ様ナヤリカタヲシタトセバ如何ニ飼育容易ナ品種デアツテモ失敗ニ終リマス、現ニ本春ニハ其ノ實例ガ澤山アツタノデアリマス。

一、先ヅ第一ニ注意スベキハ桑葉デアリマス、桑葉ハ絹ノ前身ト云ハレテ居ル程デ其ノ良否ニ蠶兒ノ發育

カラ糸質ノ良否ニ迄大關係ガアリマス、殊ニ優良種ヲ飼フニハ其品種ニ相當スル所ノ桑葉ヲ選ンデヤラネバナリマセヌ。

即チ一代雜種ハ在來種ヨリ經過ガ速進スル品種デアルカラ桑葉モ早生桑カ若シクハ中生桑ニテ比較的成熟ノ早イモノヲ給與スルコトガ必要デアリマス、然ルニ在來種ヲ飼フト同様十文字ノヤウナ晩生桑ノミヲ與ヘテハ始終成熟シナイ水分ノ多イ軟葉ヲ與フルコト、ナルカラ、蠶兒ハ水膨レニナリ營養不良ニ陥リ蠶病ニ罹リ易ク而シテ生繭ハ豊美ニ出來ナイデアリマス。

一、次ニハ給桑ニ注意スルコトデアリマス、一代雜種ハ日支デモ支斷デモ肥大スル丈ケ大食スル品種デアリマスカラ、給桑ヲ充分ニシ所謂桑不足ニナラヌ様ニ飼育セネバナリマセヌ、殊ニ稚蠶中ハ發育スル割合ヨリモ多ク大食スルカラ一層ノ注意ガ必要デアリマシテ若シ稚蠶中ニ桑不足ナラシメタラ不眠蠶ヤ空頭蠶等ガ澤山ニ出來後ニ至リ俄カニ騒ギ出シテモ最早手後レトナリ恢復ノ出來ヌ事トナリマスカラ營養ノ充實シタル桑葉ヲ充分ニ給與スル様ニ努メネバナリマセヌ。

一、歐洲種又ハ歐洲種ヲ交雜シタル品種ハ過食ノ害ニ陥ルカラ給桑ヲ多量ニスルノハ宜シクナイト云フモノガアリマスガ、未熟ノ桑ヲ過多ニ給與シ又ハ給桑ノ時期ガ適當デナク殘桑ヲ多ク生ゼシメタリスル様ナヤリ方デハ無論宜シクアリマセンガ、成熟シタモノヲ適機ニ與ヘタトスレバ假令其量ハ多クトモ決シテ過食ノ害ニ陥ルモノデアリマセン、五日病トカ六日病トカ稱シ五齡五日目六日目ニ至リ斃ル、蠶病等ハ主トテ未熟ノ桑葉ヲ與ヘタ結果デアリマス。

一、桑葉ニハ水分約七割強其ノ他蛋白質トカ、炭水化物トカ、脂肪トカ、纖維トカ、灰分トカ色々ノ成分ヲ含マレテ居リマスガ其中デ蛋白質ト炭水化物トガ主要ノ營養分デ脂肪、灰分等モ亦ソレノ必要ノモノデアリマス、處デ纖維ハ營養分トシテハ必要デ無イガ蠶兒ノ消化ヲ助ケル働キガアリマス、即チ相當成熟シテ纖維ノ多イ桑葉デアルト之ガ蠶兒ノ胃ニ入ツタトキニ葉ノ中ノ纖維ハ胃ヲ刺撃シテ消化液ヲ多ク分泌セシメ消化ヲ助ケルデアリマス。

故ニ成熟シタ桑葉ハ營養分充實シテ居ル許リデナク纖維ハ消化ヲ助ケルノデ蠶兒ノ發育ヲ良クスルモノデアリマス。

一代雜種ヲ飼フニハ殊ニ壯蠶ニ對シテハ斯様ナ桑葉ヲ給與スルコトガ肝要デアリマス、若シ未熟ノ桑葉ヲ給與シタリトセバ水分多ク纖維ガ少イカラ消化ガ惡ク彼ノ五日病トカ六日病トカ稱スル様ナ病氣ニ罹ルノデアリマス。

一、次ハ温湿度ニ注意スルコトデアリマス、支那種ナリ歐洲種ナリ交雜シタ一代雜種ハ幾分高温デソシテ乾燥ヲ好ム性質ガアリマス、之ニ反シテ飼育中温度ガ低過ギ且多濕デアルト失敗シ易イデアリマスカラ一代雜種ヲ飼フニハ春蠶ハ七十度カラ七十五度、秋蠶ハ七十五度カラ八十五度位ノ温度ヲ目的トシ室内ハ成ルベク乾キ勝チニ七十五%内外ニ致シタイモノデアリマス。

一、以上申上ゲタ事柄ハ飼育中注意セオバナラス大要デアリマスガ、猶空氣ノ流通ヲ能クシ不良瓦斯ト水分ノ鬱滯スルコト無キ様ニ努ムベク又除沙ニ注意シ殘桑ヲ堆積シテ蠶座ヲ不潔濕潤ナラシムルコト無

キ様ニ取扱ハネバナリマセヌ、要スルニ飼育室ハ不快ノ氣持セヌ様晴ハレシタ状態ニナサネバナリマセヌ。

一、近年諸物價ガ騰貴シ勞力欲乏シテ以來養蠶家ハ勞資共ニ節約セントシ條桑育ヲ始ムルモノガ多クナリマシタモ又止ムヲ得ナイ次第デアリマス、元來條桑育ハ其方法宜シキヲ得ルニ於テハ蠶兒ヲシテ飽食セシムルコトガ出來且ツ生産費ヲ減少シ人數ニテ相當多量ノ養蠶ヲナシ得ルノ便法デアリマス、ケレドモ現今行ハレテ居ル條桑育ナルモノハ徒ラニ生産費ヲ節減スルコトヤ無謀ノ大養蠶ヲナスコトニ腐心シ其生産繭ノ良否等ニハ頓着シナイカラ其極ハ非常ナル厚飼ヒトナリ却ツテ桑不足ノ弊ニ陥リ收穫ヲ減ジ生産繭ノ品位ヲ著シク惡クシテ居ル様ナ状態デアリマス、斯様ナ事デハ折角品種改良ヲシテモ飼育ノ粗雑ノ爲メ良繭ハ出來ズ何ニモナラヌコト、ナリマス。

一、勞資ノ高騰シタル今日デアリマスカラ素ヨリ生産費ヲ少クスルコトハ、大イニ考ヘネバナリマセヌガ繭ノ品質ヲ惡クシテ迄モ之ヲ激減セオバナラヌト云フコトハ餘程考ヘモノデアリマス、生産費ハ大イニ減ジタガ又繭ノ品位ガ惡イ爲メ收入モ減ズルノデ結極ハ餘リ利益ニナリマセヌ。

斯ル飼育法ガ益々盛ニナリ品位ノ劣ル繭ガ愈々多ク生産サレル様ナコトニナレバ國家トシテ損害ハ決シテ鮮少デアリマセン、個人ノ利益ヲ蠶性ニシテマデモ國家福利ヲ保護スルト云フ譯ニハ行カヌガ全然國益ヲ無視スルコトモ出來ヌノデアルカラ、條桑育ヲ成サントスル方々ハ繭ノ品位ヲ害セザル程度ニ生産費ヲ減ジ得ル方法ニ改メラレタイ者デアリマス。

一、最後ニ上簇ニ就テ少シ述ベタイト思ヒマス今更申スマデモナク、上簇後ノ取扱如何ハ繭ノ解舒其他ニ大關係アルモノデアリマシテ、此ノ時ノ取扱ヒガ悪イト飼育中不眠不休ノ努力モ無汰トナリ繭ノ色澤ヲ害シ解舒ヲ不良ナラシメ、製絲原料トシテ價值無イモノニナリ折角ノ若心モ水泡ニ屬スト云フコトニナリマスカラ、上簇ヲ始メタラ一層努力致シ油斷シテハナリマセヌ、上簇中温度ガ激變スルト繭層ハ二層ニモ三層ニモナリ緊リノ無イ繭ガ出來又濕氣ガ多ク且ツ空氣ガ不潔デアルト解舒ガ悪ク色澤ノ不良ナル繭トナルノデアリマスカラ、飼育中ト同様温度ニ注意スベキデアリマス、若シ温度ノ低い時ハ補温シテ七十五度位ヲ保タシメ、又火力ヲ使用シ戸障子ヲ開放シタリナドシテ室内空氣ノ交換ヲ圖リ濕氣ノ排除ニ努メルコトガ肝要デアリマス。

大正九年十一月

營業案内

埼玉縣秩父郡樋口村大字野上下郷壹九六

所 長 新井養蠶傳習所

蠶種製造販賣

新井定三郎

振替口座東京 九六六一
電信略號(ア)又ハ(アラ)

蠶業ノ改善發達ノ道程多々有リト雖也就中其根元タル蠶種ノ良否ハ國家經濟ニ至大ノ影響ヲ及ボスコト渺ナカラス輓近學理ノ進歩ト共ニ蠶ノ品種著シク向上シタリト雖也往々製種家ニシテ學識技能之レニ伴ハズ又相當蠶學ヲ修メシ技術家ニテモ經驗尙ホ日淺キカ故交雜上ノ順序ニ齟齬ヲ生シ若敷ハ蠶病消毒ノ注意ヲ缺キ蠶種ノ貯藏ニ催青ニ屢々失敗ヲ醸シ一進一退容易ニ安定ヲ得ズ加之一面徒ラニ珍奇品種ノ効能多キ所以ヲ説キ一時的利益ヲ獲得セントシ養蠶家ヲ迷ハシムル等實ニ寒心ニ堪ヘサルモノ有リ此處ニ於テ吾輩製種ニ從事スル者ノ任務ハ重且ツ大ナリ當所ハ夙ニ信スル處有リ誓テ責任ノ衝ニ當リ多年ノ實驗ニ鑑ミ研鑽努力以テ優良蠶種ヲ製造シ諸彦ノ高需ヲ充タシ斯業ノ發展ニ貢獻セントス希クハ幸ニ各位ノ同情ニ溶センコトヲ

附記 當所蠶種ノ成績ハ前年大正八年度春秋ヲ通シテ悉ク歩合検査ニ合格シ又本年度ニ於テモ春秋ヲ通シ貳萬有餘枚ノ蠶種全部歩合検査ニ合格シ其病毒率大部分萬分率ヲ以テ合格シ頗ル優位ノ成績ヲ得タリ加之本年度不良ノ天候ニモ不拘飼育術其當ヲ得タル結果頗ル健蠶ナリシ爲メ蠶種ノ次代ニ及ボス養蠶ノ好成绩期シテ俟ツヘキモノアリ依テ贅言モ憚カラズ一言ヲ述フ

●本所經營ノ概要

地勢 秩父郡北部ニ位シ荒川ノ清流ヲ東方ニ隔ツルコト數丁通稱辻山ト唱フル山麓ニアリ土地高層肥沃ニテ桑葉克ク繁茂シ通風佳良蠶蛆絶無ニシテ蠶種製造ニ好適セル實ニ天惠地トモ稱シ得ヘキ地域ナリ

飼育 折衷育ニテ常ニ大氣ノ清爽ヲ尊重シ當所多年ノ實驗ト學理ノ應用ト相待テ健蠶術ノ濫興ヲ極メ種繭飼育トシテ毫モ遺憾ナキヲ期ス

桑葉 桑園ハ南面セル傾斜地ニシテ自然排水ノ便益アリ殊ニ種繭用トシテ好適ナル中苧仕立ニシテ加之濃厚ナル配合肥料ヲ施シ常ニ製種原蠶育ノ飼料ニ適スル營養充實セル良桑ヲ用ユ

製造蠶種 本所製造蠶種ハ蟲質強健、無毒、飼育容易成繭豐美ナリ特ニ交雜ノ完全ヲ期センカタメ最新式ノ鑑別器分離器其他ノ設備ヲ整へ最善ノ努力ヲ盡シ常ニ細心ノ注意ヲ怠ラズ蠶蛾ノ生理ヲ害スルカ如キ交雜又ハ自由交尾繭ヲ生スル等ノ缺點ナキヲ期ス優良保證 本所ハ自信ナキ不良蠶種ハ一枚タリモ販賣ヲ爲サス必ス責任保證付キノ優良

品ヲ提供ス

品種 時代ノ要求ニ順應セル優良品種ヲ撰定製造ス

●普通蠶種

春蠶種
 ×國蠶日一號 ×國蠶日四號 ×國蠶日三號 ×國蠶日四號
 ×國蠶支四號 ×國蠶支三號 ×國蠶支四號
 ×國蠶歐七號 ×國蠶歐七號 ×國蠶歐七號
 ×國蠶支七號 ×國蠶支七號 ×國蠶支七號
 ×國蠶支七號 ×國蠶支七號 ×國蠶支七號

夏秋蠶種 國蠶日一〇六號 ×國蠶支八號 ×國蠶日一〇六號
 國蠶支一〇一號 ×國蠶支一〇一號 ×國蠶支一〇一號

●基礎原蠶種

國蠶日一號 國蠶支四號 國蠶支七號 國蠶支八號 國蠶歐三號
 國蠶歐七號 國蠶歐十號 國蠶日一〇六號 國蠶支一〇一號 ×國蠶支八號
 ×國蠶支一〇一號 ×國蠶支一〇一號

●御取引ノ要項

本所ハ誠意ヲ旨トシ確實ナル御取引希望致候付テハ左記要項御一覽相成度候
 代價 種類ニヨリ又ハ歐、支、日各母體ノ區別卵粒ノ多少等ニヨリ一定致難ク候間御希
 望ノ品種御指定ノ上御照會相成度御取引ハ前金豫約金御拂込ミ又ハ各種ノ組合團體等ノ
 共同御購入ニ對シテハ枚數ニヨリ相當御取引可致候

ル等實ニ寒心ニ堪ヘザルモノ有リ此處ニ於テ吾輩製種ニ從事スル者ノ任務ハ重且ツ大ナリ當所ハ夙ニ信スル處有リ誓テ責任ノ衝ニ當リ多年ノ實驗ニ鑑ミ研鑽努力以テ優良蠶種ヲ製造シ諸彦ノ高需ヲ充タシ斯業ノ發展ニ貢獻セントス希クハ幸ニ各位ノ同情ニ溶センコトヲ

附記 當所蠶種ノ成績ハ前年大正八年度春秋ヲ通シテ悉ク歩合検査ニ合格シ又本年度ニ於テモ春秋ヲ通シ貳萬有餘枚ノ蠶種全部歩合検査ニ合格シ其病毒率大部分萬分率ヲ以

テ合格シ頗ル優位ノ成績ヲ得タリ加之本年度不良ノ天候ニモ不拘飼育術其當ヲ得タル結果頗ル健蠶ナリシ爲メ蠶種ノ次代ニ及ホヌ養蠶ノ好成绩期シテ俟ツヘキモノアリ依テ贅言モ憚カラズ一言ヲ述フ

○本所經營ノ概要

地勢 秩父郡北部ニ位シ荒川ノ清流ヲ東方ニ隔ツルコト數丁通稱辻山ト唱フル山麓ニアリ土地高層肥沃ニテ桑葉克ク繁茂シ通風佳良蠶蛆絶無ニシテ蠶種製造ニ好適セル實ニ天恵地トモ稱シ得ヘキ地域ナリ
飼育 折衷育ニテ常ニ大氣ノ清爽ヲ尊重シ當所多年ノ實驗ト學理ノ應用ト相待テ健蠶術ノ蘊奥ヲ極メ種繭飼育トシテ毫モ遺憾ナキヲ期ス
桑葉 桑園ハ南面セル傾斜地ニシテ自然排水ノ便益アリ殊ニ種繭用トシテ好適ナル中苻仕立ニシテ加之濃厚ナル配合肥料ヲ施シ常ニ製種原蠶育ノ飼料ニ適スル營養充實セル良桑ヲ用ユ
製造蠶種 本所製造蠶種ハ蟲質強健、無毒、飼育容易成繭豐美ナリ特ニ交雜ノ完全ヲ期センカタメ最新式ノ鑑別器分離器其他ノ設備ヲ整ヘ最善ノ努力ヲ盡シ常ニ細心ノ注意ヲ怠ラズ蠶蛾ノ生理ヲ害スルカ如キ交雜又ハ自由交尾繭ヲ生スル等ノ缺點ナキヲ期ス優良保證 本所ハ自信ナキ不良蠶種ハ一枚タリモ販賣ヲ爲サス必ス責任保證付キノ優良品ヲ提供ス

○普通蠶種

品種 時代ノ要求ニ順應セル優良品種ヲ撰定製造ス

×國蠶日一號 ×國蠶日四號 ×國蠶支三號 ×國蠶歐三號
×國蠶支四號 ×國蠶支七號 ×國蠶支八號 ×國蠶支一〇一號
×國蠶歐七號 ×國蠶歐七號 ×國蠶支一〇一號 ×國蠶支一〇一號
×國蠶支七號 ×國蠶支八號 ×國蠶日一〇六號 ×國蠶支一〇一號

春蠶種

夏秋蠶種

○基礎原蠶種

國蠶日一號 國蠶支四號 國蠶支七號 國蠶支八號 國蠶歐三號
國蠶歐七號 國蠶歐十號 國蠶日一〇六號 國蠶支一〇一號 ×國蠶支八號
×國蠶支一〇一號

○御取引ノ要項

本所ハ誠意ヲ旨トシ確實ナル御取引希望致候付テハ左記要項御一覽相成度候
代價 種類ニヨリ又ハ歐、支、日各母體ノ區別卵粒ノ多少等ニヨリ一定致難ク候間御希望ノ品種御指定ノ上御照會相成度割引ハ前金豫約金御拂込ミ又ハ各種ノ組合團體等ノ共同御購入ニ對シテハ枚數ニヨリ相當割引可致候

但シ大體ノ價格標準ハ本縣蠶種同業組合ノ決定セル範圍ニヨリ精々安價ニ差上可申候尤モ養蠶組合其他團體ノ共同購入ニテモ代金ノ收受ニ手數ヲ要シ又ハ破格ナル割引ヲ追ル等取引ノ圓滑ヲ缺クカ如キ行爲有之候場合ハ乍遺憾割引ハ謝絶致候然レ共各種共同團體ノ御試驗飼育用トシテ御用命有之候場合ハ枚數ヲ限リ悅テ無代提供可致候間御一報煩ハシ度希上候

豫約期 春蠶種ハ七月十日迄風穴夏秋蠶種ハ十月末日迄ニ御申込被下度候往々御申込ノ時期相遅レ候爲メ品種ニヨリ品切レ又ハ枚數ニ不足ヲ生シ折角ノ御用命ヲ充タス不能遺憾ノ場合有之候間右期間内ニ成ルヘク御申込被下度候最モ期間外ト雖モ殘種之有候品種ハ御用命ニ應シ可申ニ付御照會被下度速答可仕候
風穴種 ハ御希望ニヨリ隨時出穴御送付可致候ヘ共御注文ノ當時出穴期日御申聞ケ被下度不明ノ場合若シクハ出穴期日及枚數等ニ御變更有之候場合ハ掃立豫定日ノ廿日前遅クモ十五日前ニ御急報相成度候

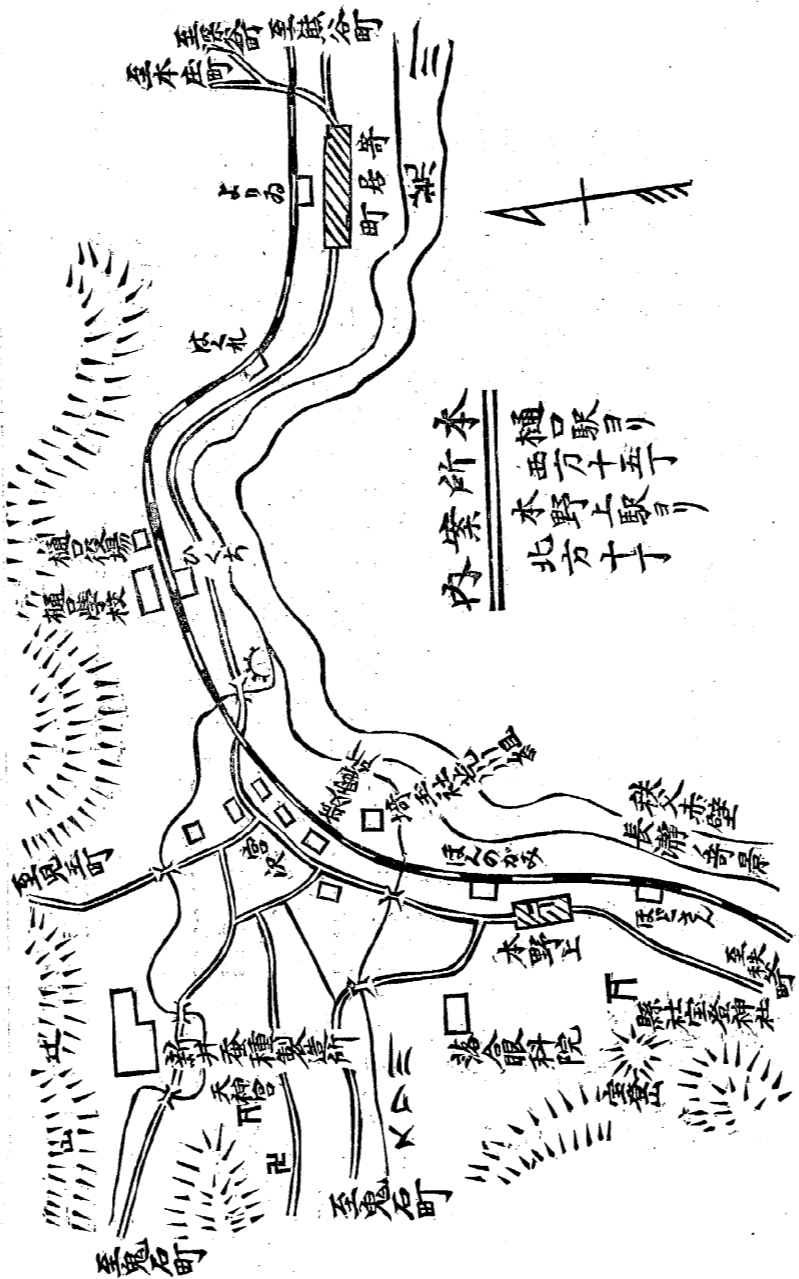
代金 御送金ノ節ハ可成振替口座東京九六六一番新井定三郎宛御拂込被下度郵便爲替ノ場合ハ埼玉縣野上局ト御指定相成度候
御視察歡迎 原蠶飼育ノ狀況蠶種製造ノ實況等御來所ノ上御視察ノ榮賜度希望致候
尙御取引上御不明ノ點ハ御照會次第早速御回答申上ベク候

○養蠶實習生ノ募集ノ摘要

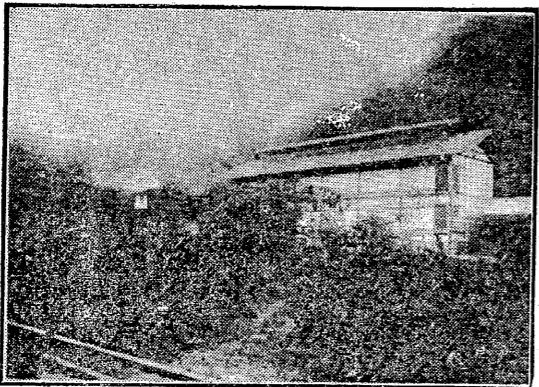
(但シ入所規則書御希望者ハ郵券貳種添付御申越シ相成タシ)

本所多年ノ實驗ヨリ得タル最モ安全ニシテ經濟的有利ナル本所獨特ノ養蠶法ヲ傳授ス入所資格

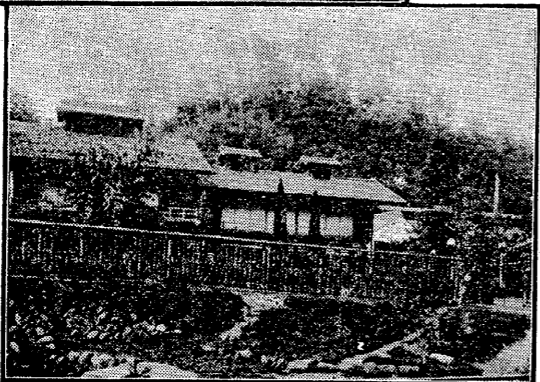
- 一、本所ニ入所希望者ハ將來養蠶業ニ從事シ自ラ斯業ノ經營ニ當リ又ハ指導者タルヘキ目的ヲ有スル志想穩堅者實ナルモノニテ男女共年齡十六歲以上タルコトヲ要ス
 - 二、高等小學卒業程度ノ學力ヲ有スルモノ
 - 三、身體健全ニテ相當ノ勞働ニ耐ヘ得ルモノ
 - 四、品行方正ニシテ所規ヲ遵守シ得ルモノ
 - 五、入所志望者ハ毎年三月末日迄ニ申込マレタシ實習中ハ左ノ特典ヲ與フ
- 一、授業料ヲ徵集セス
 - 二、食費一切ヲ支給ス
 - 三、寢具ヲ貸與ス
 - 四、實習勤務ノ程度ニヨリ相當ヲ報酬ヲ給與ス



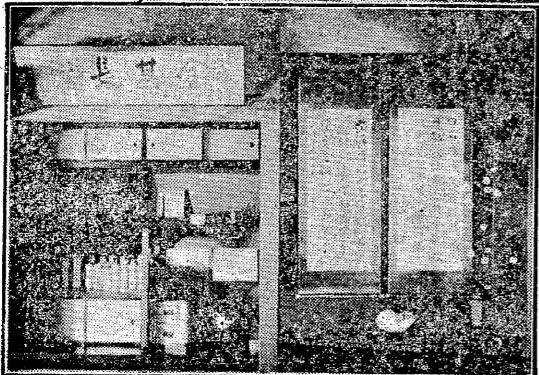
蠶室ノ其ノ一

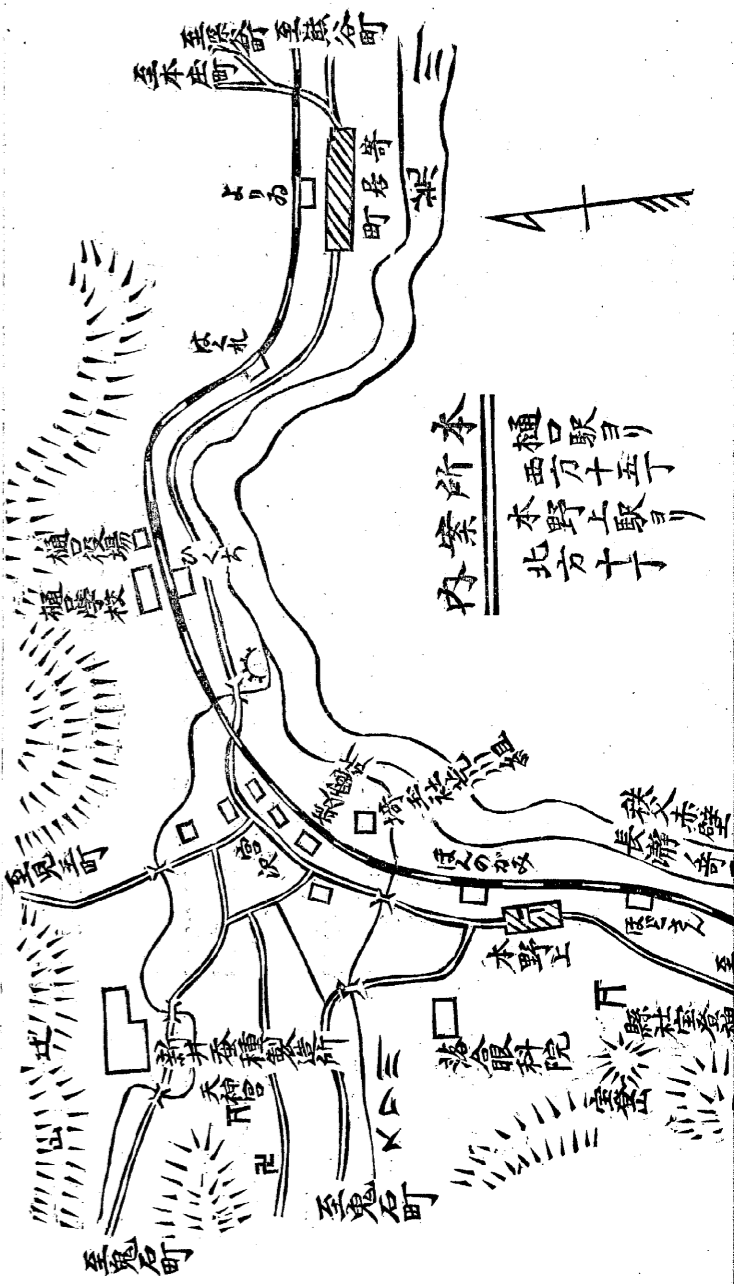


蠶室ノ其ノ二

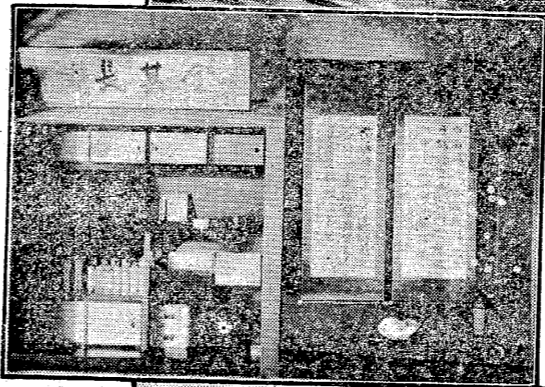
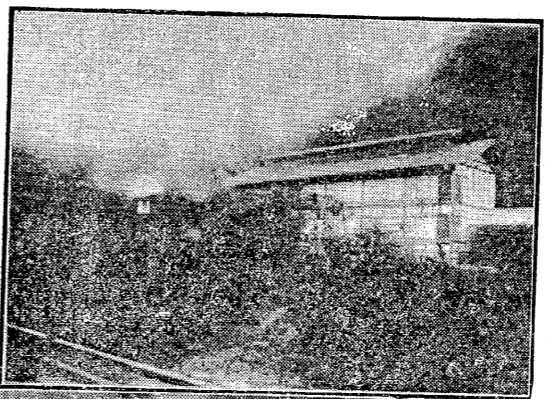


居室ノ一部

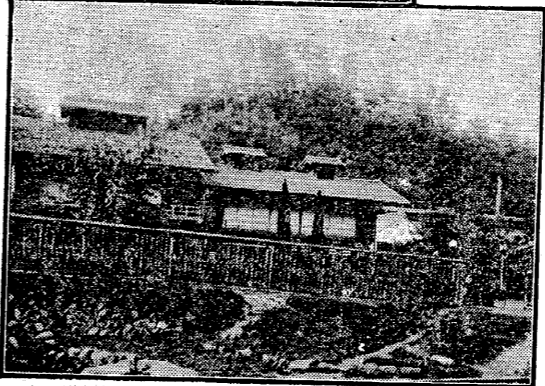




竈室ノ其ノ一



居室ノ一部



竈室ノ其ノ二

正誤表

本文二行目
全 十行目
二頁十四行目
全十六行目
五頁十三行目
六頁五行目
七頁十六行目

うれしい否
尼港遭遇難
誤リシハ
葉質ガ劣悪デアアルカ
中ノ成績迄ヲ
貯藏庫ニ委托
主トテテ

うれしいわ否
尼港遭難
誤リタルモノニテ
桑ノ葉質ガ劣悪デアアリ
中ノ成績ヲ
貯藏庫ニ保護
主トシテ

誤

正

